

語学力を活かした業務について

—自分の強みを活かす

税関では、外国語を使う機会が非常に多くあります。英語だけではなく、スペイン語、中国語、フランス語のほか、ベトナム語やネパール語などの馴染みが深いとは言えない言語が必要となる場面にも出会います。

私が空港で旅具通関業務をしていた頃は、韓国語で通関の説明をしたり、英語で場内アナウンスを行うなど、空港で起きるイレギュラーな対応を経験しました。

毎日外国の方と話す機会があったので、「この場合は、このような言い方をすれば良かったのか」と反省も含め、新しい発見があり、自然と語学力を向上させることができました。

旅具通関の現場では、違法薬物の取締りや課税対応だけでなく、迅速な通関が求められます。外国語を話せることで、このような税関の使命に少しでも貢献できると思います。



令和3年度採用
一般職高卒（事務）
調査部 検察部門



● 税関を目指した理由

小さい頃から好きだった空港で働きたかったからです。私はエアラインの専門学校に通っていたのですが、コロナ禍の影響でエアライン業界の採用がなくなりました。それでも空港で働きたい気持ちが強く、空港関係で仕事を探していたところ、母が提案したのが税関でした。

当初は、具体的にどのような仕事をするのかイメージ出来なかったのですが、税関について調べる中で、業務の幅がとても広いことを知り驚きました。

麻薬探知犬を扱うハンドラーや、輸入貨物の“国籍”を決定する原産地認定などの興味深い職種が多く、そして夢だった空港勤務を経験できる可能性があると思い、税関を志望しました。



● 仕事をしていて大変だったこと、 うれしかったこと

当直勤務で仮眠時間が十分にとれなかったり、日勤で残業したりする日が続くと、精神的にも体力的にも辛く、大変でした。空港勤務において、外国の方と外国語の新しく覚えたフレーズで意思疎通ができた時は嬉しかったです。



● 休日の過ごし方

最近は、友達と美味しいご飯を食べに行ったり、公園を散歩したりすることが多いです。当直勤務の頃は、平日の休みが多いことを利用して、年次休暇も組み合わせて海外旅行や国内旅行に行っていました。写真は、去年友人とスペイン旅行に行った時の写真です。



● とある1日のスケジュール

- 08:00 出勤
- 08:30 部門ミーティング
- 10:00 外出、犯則嫌疑者の供述の裏付け調査へ
- 12:15 昼食
- 13:00 照会文書の作成、送付
- 16:00 報告書の作成
- 18:30 退庁



困難なことがあっても、使命感をもとに頑張ってるワン！

● 職場の雰囲気

現在所属する検察部門は、警察や麻薬取締官の方々と一緒に犯則事件の調査をすることもあり、仕事に対する熱量が高い人が多い印象があります。女性職員が少なく、柔らかい雰囲気よりも強いプロ意識を感じます。責任の重い仕事が多く張り詰めた空気に包まれることもあります。困った時は上司や先輩が助けてくれます。

● 税関職員を目指す人へ一言

税関は、職種の幅が広いので自分に合う業務を見つけられると思います。特に、語学力を向上したい方や自分の語学力を活かしたい方にとって魅力的な職種があるので、貴重な経験を積めると思います。

